

活動報告

小・中学校野外観察Q

11月上旬、市内の小中学校にて校外学習を実施しました。ジオガイドさんの解説を聞きながら、市内のジオサイトを見学してきました。観察地で説明を聞くほかに、地層や化石に実際に触れるなど、各地で様々な体験をさせていただきました。

七合小6年生

松山工業、烏山城カントリークラブ



烏山小6年生

十二口、烏山城跡



江川小6年生

荒川沿いの地層観察 市内で採れた化石の見学



境小4年生

解石神社、和紙の里、国見みかん園



✓10月号に掲載したジオパーククイズの解答です！

Q1. 正解:1.2億5000万年

解説:那須烏山では、今から約2億5000万年前(中生代)までの地層が見られます。陸の時代と海の時代、両方の地層を観察することができます。市内の各地に観察スポットがあり、市内小中学校の野外観察などに活用されています。細かい年代については、ジオパーク構想のパンフレットに掲載されていますのでぜひ一度ご覧ください。

荒川層群 入江野層 田野倉層 大金層 小堀層	海成層 (砂岩や泥岩)	新生代 中新世	900万年前 ~ 1500万年前
笨川層群	陸成層 (火山噴出物)	新生代 中新世	1700万年前 ~ 1800万年前
古い 八溝層群(付加体)	海成層	中生代 白亜紀 ジュラ紀 三畳紀	1億年前 ~ 2億年前

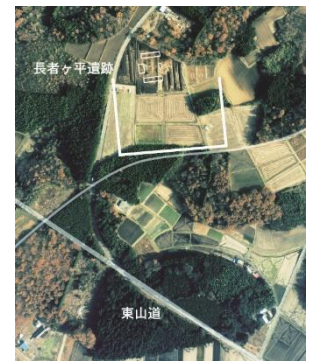
Q2. 正解:4. 北

解説:小木須地区にある国見のみかん園たちは、日本最北端の観光みかん園といわれています。みかん栽培というと、愛媛県などの温暖な地域で行うイメージだと思いますが、那須烏山ではその地形・地質によって栽培が可能となっています。山の高いところの急斜面にあることで暖かい空気が溜まりやすく、冬でも霜が降りにくい「無霜地域」であるため、寒さに弱いみかんも育てることができるのです。



Q3. 正解:2. 役所

解説:「官衙」とは奈良時代から平安時代の役所のことです。ここでは発掘調査で政庁や正倉などの建物群が発見されたことから、官衙であることがわかりました。古くから焼米(炭化米)が発見されていて、源義家が奥州征伐を終えて都に帰る途中に長者屋敷を焼き討ちしたという伝説が残されています。



編集後記

10月号にジオパーククイズを作成、掲載してみました。いかがだったでしょうか？知らなかった内容はぜひ新たに覚えていってくださいね◎那須烏山ジオパーク構想に関する情報はまだまだあるので、皆さんに楽しんでいただけるようなクイズを作っていけたらと思います。

それから今月は、多くの小中学校で校外学習が実施されました。どの学校の児童たちも外での学習を楽しみながら取り組んでくれた様子で、事務局としてはうれしい限りです。これからの学習も楽しみながら学んでほしいですね。

HP、Instagramにて
情報更新中！



ジオパーク構想 HP



NASUKARU6224
文化財グループ Instagram



月刊ジオパークニュース 11月号 / 11月19日 発行 ~五感で楽しむ那須烏山~

連絡先: 那須烏山ジオパーク構想推進協議会事務局 (那須烏山市生涯学習課文化財グループ内)

TEL: 0287-88-6223 mail: shohgaigakushu@city.nasukarasuyama.lg.jp